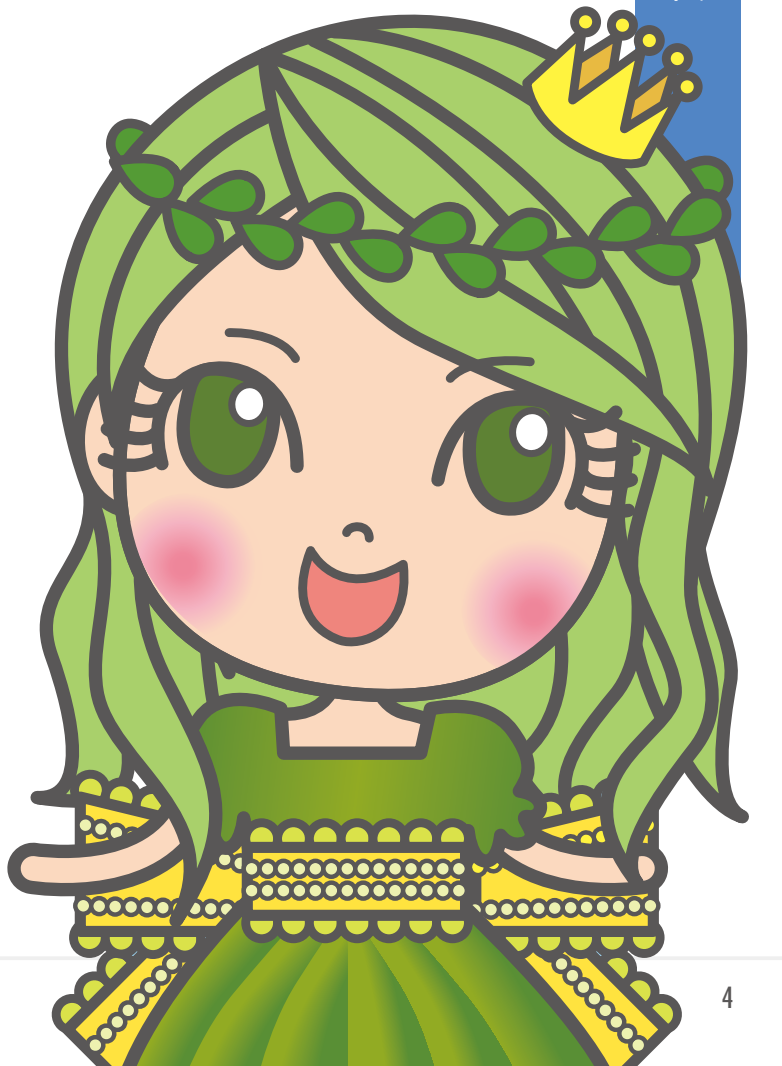


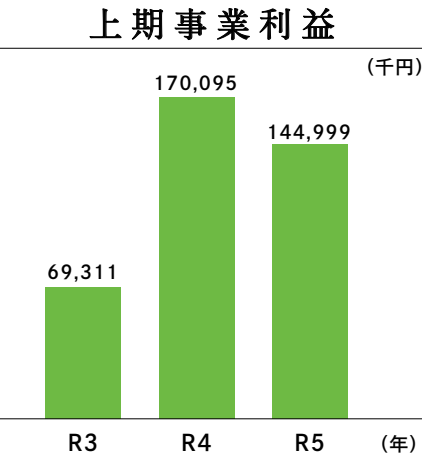
J A 掛川市 令和5年度 上期決算報告

ともに、
すすむ。



J A 掛川市では、令和5年3月1日から令和5年8月31日までを上期として仮決算を行っています。この結果、J A 事業で得た利益から管理費を引いた事業利益は1億4,499万円となりました。

た。信用事業では、有価証券の運用などにより、収益は前期比1,500万円増の4億5,700万円となりました。リニューアル以降、成長を続ける新鮮安心市場さすが市は、販売品取扱高が4億3,600万円となり、前期比780万円増となりました。一方で、その他の事業では前期比で収益が減少する結果となりました。



〈購買〉継続した施肥設計で
一体となる産地作りを
〈営農〉さすが市は堅調を維持



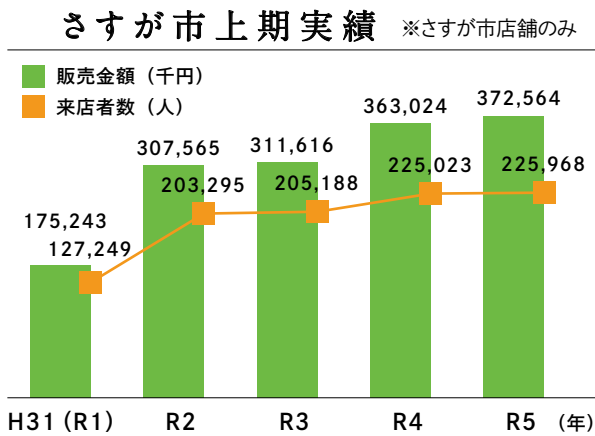
営農

農業所得向上のため、各部会への情報提供や販売力強化に取り組みました。定期的な巡回指導や情報収集を行い、産地力の強化に努めました。

米
○展示圃の調査データをもとに
穂肥講習会の開催(8地区)
○ヘリ防除による効率的かつ飛散防止対策の実施

園芸
○イチゴ新規栽培者への指導と
出荷推進(新規2名、研修中1名)

○5 J A によるイチジク契約販売の実施
○さすが市出荷者への苗の供給(ハクサイ、



畜産
○栗プロジェクトによる栽培推進
○肉牛・枝肉共励会や乳質共励会への参加
さすが市
○J A 間連携による販売品目の充実
○出荷量の確保に向けた種子、苗の提供
○栽培講習会の実施(出荷者15名増)

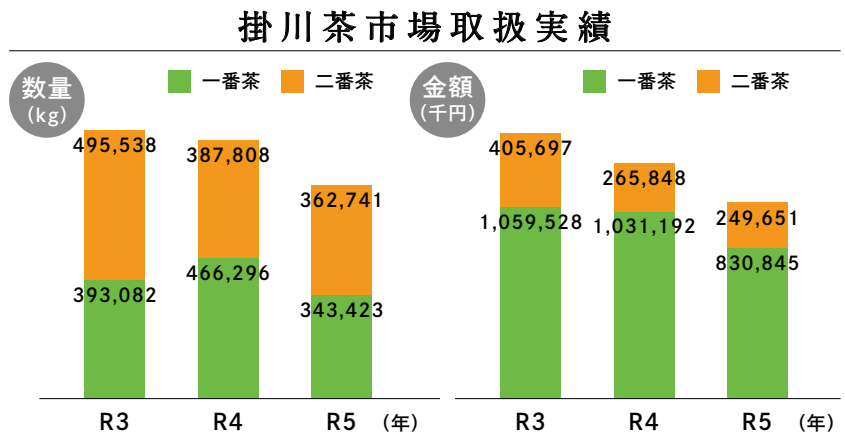
下期に向けて
年間事業計画
一般販売
900,000千円
畜産
470,000千円
さすが市
820,000千円

○有利販売に向けた市場や販売先への細やかな情報提供
○細やかなニーズや注文への販売対応
○5 J A での契約販売の取り組み
○育苗センター、ライスセンター、苺パックセンターの円滑な運営
○複合経営作物(レモン、イチジク、レタス、栗、キャベツ、ブロッコリーなど)の導入推進
○果樹の補助金申請手続き



茶

気象観測定点の状況の把握と蓄積したデータをもとに、的確な病害虫発生消長を分析し、情報の発信や指導に努めました。飲用形態が多様化する中、需要に応える生産、製造指導を実施しました。



一番茶では、掛川茶市場の取扱実績で過去最低の数量となりました。要因としては、昨年の夏場の照りや4月の低温、茶後半の病害などが挙げられます。二番茶は、品質重視のみる芽摘採となりました。

茶業
○良質茶生産に向けた土壌診断と荒茶成分分析の実施(土壌診断148点、成分分析一番茶561点、二番茶427点)
○改植支援事業を活用した複合経営の推進

(23 a)

○有機JAS規格茶生産の拡大(793a増)

緑茶加工 ○計画的な厳選仕入れによる品質の安定

下期に向けて

年間事業計画	
茶市場	1,600,000千円
加工	600,000千円

- 燃料価格高騰対策事業の申請
- 数値目標を踏まえた推進活動の実施
- 品評会の成績、茶が持つ効能の発信
- 営農経済部と連携した複合経営の推進
- 多様化するニーズに対応できる製造、販売
- 委託加工、粉碎事業を中心に新規顧客、新規事業の獲得



購買

ニーズに対応した購買事業を目指して、生産、生活資材を提案し、推進活動や展示会販売を行いました。

生産資材

○肥料コスト低減に向けた早期対応価格の設定(茶用4品目、水稻用5品目)

○5JA事業連携協議会による新規共通肥料の開発(5JA共通けいふん配合)

○営農情報をいち早く伝える「出向く体制」の確立

○除草剤キャンペーン、除草剤価格高騰対策の実施

○コスト低減に向けた低価格機械の推進

○農業機械大展示会、夏の展示即売会の実施

生活資材

○飲料キャンペーン、新米キャンペーンの実施

○さすが市での飲料のイベント販売

あぐりサポート掛川

○トランプシェーバー導入による作業工程の増加(作業実績計245件)

やすらぎ

○多種多様なニーズへの対応

○事前相談の実施

下期に向けて

年間事業計画	
生産資材	1,635,000千円
生活資材	735,000千円

○秋の展示即売会を中心とした販売強化

○ニーズに合う商品の提案

○年特肥料の推進強化

○5JA事業連携協議会による銘柄集約とロットの拡大



組織活動 組合員支援

下期に向けて

年間事業計画	
貯金	115,700,000千円
貸出金	34,600,000千円

○冬期特別推進運動、年金指定替推進運動の実施

○新NISA制度への対応

○農業者向け融資の増強に向けた出向く活動の実施

○相談機能、推進機能の強化

○住宅関連業者への営業活動の強化

○臨店指導、各種研修会の実施



共済

「組合員・利用者一人ひとりに寄り添った安心と満足の提供」を基本方針とした活動を心掛け、推進活動に取り組みました。

下期に向けて

年間計画	
共済	8,000,000ポイント

JAの損益の状況と事業別総合実績を報告します



総務

- 自動車共済、年金共済のDM送付
- 全件訪問活動の計画
- WEBマイページ、JA共済アプリへの積極的な取り組み
- 対面、非対面を織り交ぜた契約者満足度向上に資する活動とした、適正な事務手続きの定着と共済コンプライアンスの徹底
- インストラクターを中心とした各種研修会、臨店指導の実施

総合事業を活かした組合員加入促進活動や、組織改革研修としての職員スキルアップ研修を展開するとともに、事業管理費の更なる削減による財務内容の健全化に努めました。

上期事業別総合実績

令和5年3月1日～令和5年8月31日 (単位:千円) 共済はポイント

事業	年間計画	8月末実績	前年実績	計画対比	前年対比
貯金	115,700,000	115,533,688	115,498,032	99.9%	100.0%
貸出金	34,600,000	34,028,164	33,137,923	98.3%	102.7%
長期共済	8,000,000	4,148,537	4,765,963	51.9%	87.0%
生産購買	1,635,000	1,083,709	1,002,875	66.2%	108.0%
生活購買	735,000	335,521	386,078	45.6%	86.9%
一般販売	1,370,000	680,903	746,187	49.7%	91.3%
さすが市	820,000	436,676	428,813	53.3%	101.8%
茶販売	1,600,000	1,111,891	1,331,648	69.5%	83.5%
緑茶加工	600,000	272,955	296,501	45.5%	92.1%

損益の状況

令和5年3月1日～令和5年8月31日 (単位:千円)

科目	年間計画	令和5年8月末実績	計画対比
事業総利益	1,952,755	1,060,733	54.3%
(信用事業)	726,640	387,030	53.3%
(共済事業)	535,000	272,894	51.0%
(購買事業)	396,750	245,269	61.8%
(販売事業)	150,555	85,002	56.5%
(加工事業)	150,000	76,462	51.0%
(その他事業)	42,520	20,774	48.9%
(指導事業)	▲48,710	▲26,662	54.7%
事業管理費	1,942,000	915,774	47.2%
(人件費)	1,352,000	643,601	47.6%
(施設費)	327,000	145,499	44.5%
(その他)	263,000	126,670	48.2%
事業利益	10,755	144,999	1,348.2%
事業外損益	92,000	47,185	51.3%
経常利益	102,755	192,184	187.0%
特別損益	▲30,000	▲14,851	49.5%
税引前当期利益	72,755	177,333	243.7%

事業管理費率
86.33%

労働分配率
60.67%

自己資本比率
17.48%